

令和3年12月1日

嬉野市議会

議長 田中 政司 様

議会 ICT 化に関する特別委員会

委員長 芦塚 典子

議会 ICT 化に関する特別委員会報告書

令和3年9月議会において付託された下記事件について、嬉野市議会会議規則第107条の規定により報告する。

付託事件名 議会 ICT 化に関する調査研究

本特別委員会は、平成30年3月議会より ICT ツールの利活用をはじめ、本議会の ICT 化に係わる研修並びに検討を進めてきたところであるが、このたび、今年度までの本特別委員会の検討結果を取りまとめたので、次のとおり報告する。

1. 経過報告（会議の概要）

第1回会議（平成30年4月27日）議会 ICT に関する特別委員会について委員会の進め方、議会 ICT 推進基本計画策定を検討事項において会議を推進する。

第2回会議（平成30年5月27日）議会 ICT 化推進基本計画案作成に係る現状・課題と先進地事例検討並びに当市議会現状と課題について研修する。

第4回会議（平成30年7月18日）先進地視察研修（武雄市、大村市）

第5回会議（平成30年8月27日）①武雄市、大村市の視察結果の研修・意見等確認

第7回会議（平成30年10月18日）東京インタープレイ株式会社「sideBOOK」の体験と demo による研修を行う。

第9回会議（平成31年4月26日）嬉野市議会 ICT 推進基本計画策定を進める。

（1）嬉野市議会 ICT 推進基本計画の策定について

本議会では、平成20年6月に「市民に開かれた市議会」の実現に向けて、嬉野市議会活性化に関する特別委員会を設置し、嬉野市議会基本条例を制定し平成21年7月1日に施行された。平成30年3月議会において「市民に開かれた市議会」の実現に向け、更なる情報発信と情報通信技術（ICT）の推進を求める決議をし、この決議文について具体的に事業を推進するため、この度嬉野市議会 ICT

推進基本計画を策定するものとする。

- (2) 計画策定の目的として、「本議会は、民主主義の過程に市民により深くかかわる機会を得るために市民に開かれた市議会のなお一層の実現を図り、議会の見える化（透明、参加、協働）に向けた有効手段の一つとして、ICT技術の積極的活用を推進する。」

第12回会議（令和元年7月4、5日）先進地視察研修（総務省、横須賀市議会）

第16回会議（令和元年9月24日）議会ICT化推進基本計画策定

第18回会議（令和元年11月19日）富士ソフト㈱「moreNOTE」のdemoと体験会

第20回会議（令和2年6月17日）令和2年度計画と機器導入について協議

第21回会議（令和2年7月31日）端末システム・通信キャリアの検討及び機器導入についての仕様書作成

第22回会議（令和2年8月17日）PC端末スキル研修会、moreNOTEによる操作試行

第26回会議（令和2年8月28日）全議員moreNOTEをインストール

令和2年9月4日(金)本会議において、嬉野市議会ICT化推進特別委員会の中間報告

第28回会議（令和3年7月8日）タブレット導入についての機器選定、機器仕様確認

第29回会議（令和3年7月30日）、PC導入に伴う仕様書作成並びに例規等の整備

追加項目 第152条2 議員は、情報通信端末機器を会議等において使用することができる。

2 前項の規定は、市長その他の関係機関の情報端末機器の使用について準用する。（許可のない登壇の禁止）

第32回会議（令和3年10月4日）新機種においてmoreNOTEアップロード

新機種導入によるエクササイズを予定していたが 入札不調で延期

世界的な半導体不足で、当委員会が希望する機器が、希望する時期（10月）に納入できない。機種変更をすれば納入可能の機種もあるとの回答だったが、機種は変更しないで、納入時期を延期することに合意した。

第33回会議（令和3年11月4日）

新機種、今期1月導入予定の入札が不調のため、機器導入は来期に延期

機種導入において、令和4年1月に納入の見込みがあるということで、再度入札をお願いしたが、半導体不足による製品不足で、納期までの納入の見込みがないということで入札不調に終わり、機種の導入は来期に延期という結果となる。

2. 先進地視察について

①武雄市議会（平成30年7月18日）

ICT活用については、議場においてPC機器類の持ち込みを可能にし、ユーチ

ューブ、PC 配信においては文字通訳配信を行い、平成24年議会改革特別委員会でモニター・PC・Ipadの使用を決定し平成24年の一般質問より可能になっている。

②大村市市議会（平成30年7月18日）

平成20年12月に「大村市議会基本条例」を策定し、インターネット配信に取り組んでいる。平成28年3月には議場、委員会室での情報通信機器の利用を許可し、7月には議会内にICT導入部会を立ち上げ、平成29年度導入に向けて取り組んでいる。

③総務省情報流通行政局（令和元年7月4日）

これからのICT活用は、特にIoT、ビッグデータ、AIによる「モノ」の様々なデータを収集・分析し、新たな価値を創造する成長の源泉となる時代へとなり、この時代には「Society5.0時代の地方」の実現が現実となる。

④横須賀市議会（令和元年7月5日）

平成14年3月に議会ICT化基本計画を策定している。インターネット中継は平成15年9月から開始し、議会ネットワークについては平成14年に構築し①全議員にパソコンを貸与②グループウェアの利用③議場内でのサーバでのデータ共有などICTによる議会改革に取り組んでいる。

3. 委員会報告

本特別委員会では、平成30年4月の第1回会議より令和3年11月の第33回会議まで検討会や研修を重ね、まず第一項目として本市議会の議会ICT化の現状と課題を検討事項として取り組んだ。第2回会議から議会ICT化推進基本計画について協議を重ね、第16回会議において本市としての議会ICT化推進基本計画を策定した。第6回会議においては、ICT化の具体的取り組みとしてタブレット研修案を提示し、第7回会議において東京インタープレイ(株)「sideBOOK」のデモと体験研修を行ったが、システムソフト採用においては、メンテナンスコストの点と会議機能が充実している点で富士ソフト(株)のクラウドサービス「moreNOTE」を採用する結果となった。

「moreNOTE」導入の効果としては、議会に関する行事等のスケジュール管理が的確に行えるようになったことと、議員への資料の急な配付を要する際にクラウド内の情報共有機能で速やかにデータ配信できるようになったことである。しかし、データ配信された資料をプリントする際に手間がかかるため、これが簡単にできるよう改善を要する。

また会議では、端末機器導入、及び議場プレゼンテーションと一般質問のツ

ルとして大型スクリーン整備など議場内の ICT 環境整備、また ICT を活用したペーパーレス化や情報共有化など議会改革等についても協議を行った。

特に端末機器導入については、議員で共通の端末を用いないと会議で円滑な利用が難しい点があげられることから、端末の使用基準の制定や貸与に関する例規の整備などを行う必要があることを明確にしながら、端末の導入を試みた。しかし、現在の世界的な半導体不足で PC 機器の納入が困難ということで端末の導入に関しては来期に持ち越す結果になった。

これまで本特別委員会において、計 33 回の会議を通して、今後の嬉野市議会の情報化に対応するため、「嬉野市議会 ICT 化推進基本計画」を策定し、議員活動と議会活動の活性化、円滑な議事運営、事務の効率化に資するとともに、より市民に開かれた議会を実現するために、議会の ICT 化を具体的・積極的に検討し、研修と協議を重ねて調査研究を行ったことをここに報告する。